

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市武蔵浦和コミュニティセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市南区別所7-20-1</p> <p>②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動の施設として設置</p> <p>③施設の概要 【開館】平成25年1月4日 【構造】鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造 地下1階 地上10階建のうち8・9階部分 【延床面積】1847.97㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員194名)、レクリエーションルーム1(定員45名)</p>
(3)指定管理者	オーエンス・アイルグループ
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成25年1月4日～平成28年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成25年度336,530千円 平成26年度341,195千円 平成27年度339,696千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 【利用件数】16,470件(前年度 16,117件) 【利用人数】253,040人(前年度 181,808人) 【稼働率】98.7%(前年度 98.5%) 【利用率】85.7%(前年度 83.8%)</p> <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動・生涯学習活動の拠点施設としてのコミュニティセンターの広報活動として、ホームページの更新と毎月発行の「コミセンだより」により、自主事業の開催やコミュニティ活動等の情報提供及び利用上の案内等を掲載した。 ・主催事業の開催やコミセンまつり等の自主事業やイベントを通して、地域団体の交流や協働事業の推進、地域文化の振興を図った。 ・複合公益施設の管理運営については、サウスピア連絡調整会議や代表者連絡会議を通じて、それぞれの施設の機能が十分に発揮できるように共用部分の有効的活用や案内表示の改善、空調設備の調整その他施設設備の維持管理に努めた。また館内の警備保安と駐車場・駐輪場の適正な貸出しを行った。 ・施設の貸出しについては、公共施設予約システムの更新に対応準拠し、引き続き公平公正な貸出し業務の推進と利用者サービスの向上に努めた。 <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度計画による施設、設備等の保守管理及び修繕を実施・完了した。 ・施設警備については、警備業務外の南区役所の業務補助等も実施してきた。 <p>③その他(自主事業等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上で利用者に最新情報、過去実施事業、施設のお知らせ等を見やすく情報提供した。自主事業は年間101回実施し、地域のコミュニティ・市民活動のサポート・生涯学習に貢献した。
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 339,696千円 (前年度 341,195千円) ・文化事業収入 2,336千円 (前年度 2,144千円) ・その他収入 1,606千円 (前年度 1,560千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 178,500千円 (前年度 169,049千円) ・事務費 86,583千円 (前年度 73,114千円) ・施設管理費 74,885千円 (前年度 73,034千円) ・事業費 3,669千円 (前年度 2,495千円)
(7)その他	平成27年度は施設祭りである「コミセンまつり」の開会式において、さいたま市(南区・コミュニティ推進課)の職員、地元自治会・武蔵浦和駅長にも参加して頂いた。また内容についても地元自治会・利用者団体・埼玉大学・市内高校・地元企業にも多数参加して頂き大変内容の濃い施設祭りとなり大盛況であった。また地元地域との連携も年々強化されている。また、毎年度第三者機関による利用者満足度調査を実施し、利用者の満足度と併せて意見・要望を吸収しているが、これまでの意見・要望の実施可能なものについて、全て改善を図った。

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
関係法令順守・個人情報保護	業務に従事するもの全員を対象に、年2回以上のコンプライアンス研修及び個人情報の保護に関する研修を実施した。(3階総合案内と8階コミセン受付係は3回実施した。)そのほか、PMS(個人情報保護マネージメントシステム)テストを全員に課し、全問正解になるまで担当者がフォローアップした。
自主事業実施と地域のコミュニティ活動の支援	地域住民の学習要求に応じた様々な講座・教室の開設をはじめ、学習者の各世代に対応した講座を企画し実施した。また、コミセンまつりなどを通して、地域グループの交流と協力体制の基盤づくりに努め、地域連絡協議会委員や南区コミュニティ課とも連携を図りながら事業を進めたことにより、地域のコミュニティセンターとしての役割が定着してきている。
経費削減・省エネルギー推進によるコスト削減	利用者に影響の無い共用部分や事務スペース部分などで照明の間引きや消灯を実施するほか、空調の設定温度の一定保持に努めた。また、サウシア全体のエネルギー使用量をデータベース化し、不要な消費を避けるよう省エネルギー管理を行った。光熱水費だけで昨年対比で4,313千円の削減できた。
利用者安全確保の取り組み等	定期的消防避難訓練には、区役所、図書館、老セン、子育て支援センターの各自衛消防隊のほか、コミセン利用者にも訓練に参加していただき、避難経路の確認や消防設備の基本的操作の習得を内容として実施した。但し運営開始から3年が過ぎ、開設当初に作成したマニュアル・業務手順書に不十分な部分が出て来たので必要なマニュアル・手順書の追加・既存マニュアルの内容の更新が今後の課題である。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

武蔵浦和駅前の立地条件を生かした集客力を生かし、住民同士のコミュニケーションの場の提供、地域コミュニティ形成の役割を担っていくことを念頭に運営してきた。平成27年度は昨年を大きく上回る25万人の利用者に来館して頂いた。利用者が増えた要因としては施設利用団体の利用者の増加があげられる。既存の団体への参加者だけでなく、自主事業講座を通しての新たな利用団体の発足等もかなり増えてきた。自主事業においては全101回開催した。回数自体は昨年対比で減っているが、これは利用率が高いコミュニティセンターの利用者優先・平等利用を考えた結果である。平成27年度はまさに開設当初から行ってきた内容の集大成でもあり、自主事業終了時に行うアンケート等を参考にしながら、本来の設置目的を考えた自主事業の開催ができたと考える。特に、地域との連携についてはコミセンまつりを始め、さまざまな地域団体の協力を頂きながら連携の強化も図れた。維持管理については、前述の通り電気・水道使用量における省エネに努め、前年対比で大幅に削減する事ができた。また、平成28年度以降への中長期修繕計画も作成し設備の延命化計画に努めた。施設利用の第三者委託の利用者アンケート(利用者満足度調査)については高い評価を得る事が出来た。今後の課題としては、施設が駅前の複合施設という特性である事を考え、災害時に備え、利用者の安全確保の為に体制強化・マニュアル文章等の見直し、さいたま市南区との連携強化が必要と考えている。

(2) さいたま市の評価(評価担当課: 市民局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価(B) ※A~D

- ・自主事業は毎回オリジナリティがあるものばかりであり、利用者からも大変好評である。また、大々的に行なっているコミセンまつりに関しては、地域企業をはじめとする様々な団体から協力をいただいております、市民との良好な関係が伺える。
- ・本市コミュニティセンターとしては、市の外郭団体以外では初の指定管理者であり、民間のノウハウを生かした職員研修の徹底や、利用者へのアンケート調査(満足度調査)等を実施し、利用者のニーズを把握する努力をしている。
- ・警備や清掃等の施設管理業務を自社で行うことができ、きめ細かいサービスが提供できている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)の充実と市民との協働が図れるよう、コミセンまつりをはじめとする自主事業の積極的な展開を行うよう指導していく。